

1. 診療科紹介（専攻医・後期研修医向け）

項 目	入力箇所
① 診療科名	血液内科
② 診療科の特徴	一般的な血液疾患の診療に加え、同種造血幹細胞移植やCAR-T療法などの高度な血液内科診療、学会発表や臨床研究にも携わることができ、血液内科医としての確かな土台を築くことができます。
③ 診療科のモットー	患者さん一人ひとりに寄り添う医療と、スタッフ一人ひとりの成長を大切にしています。
④ 診療内容・実績 (2026 年 7 月時点)	外来は 3 診あり、外来化学療法や輸血治療を行っている。造血幹細胞移植は年間10-15 例程度。CAR-T療法も行っている。先進的な治療から支持療法単独まで、患者さんに合わせた治療を行います。
⑤ 診療体制 (2026 年 7 月時点)	血液内科指導医 6 名、日本造血免疫細胞療法学会認定医 4 名、日本輸血細胞治療学会認定医 1 名など。
⑥ 診療科カンファレンス	週 1 回の診療科カンファレンス、病棟移植患者カンファレンス、がんリハビリ患者カンファレンス
⑦ 経験できる疾患	血液疾患全般
⑧ 経験できる技術・技能	造血幹細胞移植や造血幹細胞採取も経験できる
⑨ 学会について	日本血液学会、日本造血免疫細胞療法学会、日本輸血細胞治療学会の認定施設
⑩ その他	専攻医一人ひとりの経験や成長を大切にしています。日常診療から高度な治療、学会発表、臨床研究まで、それぞれの段階に応じて挑戦できる環境があります。

2. 指導責任者より専攻医・後期研修医へメッセージ

当科では、一般的な血液疾患から同種造血幹細胞移植やCAR-T療法まで幅広い診療を経験できます。また、企業治験や臨床研究にも携わる機会があり、意欲があれば研究センターと連携して、自ら臨床研究に取り組むことも可能です。専攻医には日々の診療を通して、自ら考え、挑戦しながら経験を積んでいただきたいと思います。血液内科に興味のある方は、ぜひ一度見学にお越しください。

名古屋医療センター血液内科専攻医募集！

名古屋は血液内科診療が盛んな地域として知られており、当院は全国の国立病院機構の病院の中で、血液内科のリーダー的病院として位置づけられています。

当院の特色は、血液内科領域におけるさまざまな症例を経験できることです。白血病やリンパ腫などの血液悪性腫瘍に対しては、JALSG やJCOG といった多施設共同研究グループに参加し、プロトコールによる治療を行っています。適応のある患者さんには造血幹細胞移植を行います。当院は、日本骨髄バンクの移植認定病院であり、また骨髄・末梢血幹細胞採取の認定病院でもあります。日本造血・免疫細胞療法学会の移植認定施設のカテゴリー1に分類されています。年間10例以上の同種造血幹細胞移植を行っています。悪性リンパ腫に対するCAR-T療法（イエスカルタ®）の施設認定も受けています。

当院は、名古屋市のやや北部に位置する総合病院であるため、時代と地域を反映して高齢の患者さんも多く受診されます。さまざまな合併症をもった高齢の患者さんの診療を行うには、他科と連携した全身管理が必要であり、歯科口腔外科も含めた総合病院であることが強みです。一方、年齢や併存疾患のために支持療法を中心とした診療を行う症例も少なくありません。このような診療は大学病院では経験する機会が比較的少なく、患者さん一人ひとりの背景を踏まえた診療を学ぶことができます。さまざまな社会背景をもつ患者さんを担当することは、医師として成長する貴重な経験となります。がん専門病院ではないので、血小板減少や貧血、凝固異常症など、悪性腫瘍以外の血液疾患症例も豊富です。

当院では新薬の治験も多く行っています。臨床研究支援室、治験コーディネーターのサポートを受けていますので、医師個人の作業負担は少なく、積極的に治験に参加することができます。また、自ら臨床研究を計画する場合にも、その立案や事務作業などに対して支援してもらえます。治験や臨床研究を通して、新しい治療法の開発に携わるとともに、研究の進め方を学ぶことができます。内科専攻医の先生には、基本的に主治医となって患者さんを診ていただきます。必ず上級医とペアになって担当していただきますので、相談しながら診療を行っていくことができます。当院は、日本血液学会血液専門医認定研修病院であり、日本輸血・細胞治療学会認定医制度指定施設であり、日本造血・免疫細胞療法学会移植認定施設であるため、当院での経験は、血液内科専門医、輸血・細胞治療学会認定医、造血・免疫細胞療法学会認定医の資格申請に使用することができます。

血液内科は難しい分野ですが、その分、多くの学びとやりがいがある診療科です。私たちは、専攻医一人ひとりが自ら考え、挑戦することを大切にしています。血液内科に興味のある方は、ぜひ一度見学にお越しください。